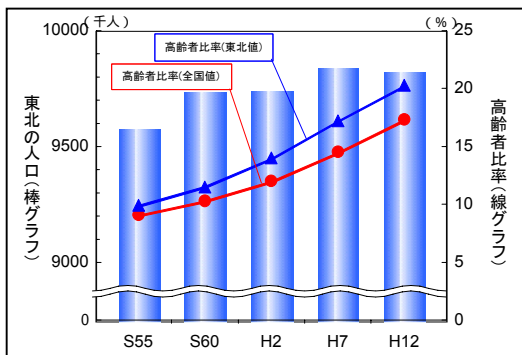


4. 高齢化の進展

全国平均を上回る高齢化が進展している東北地方では、地域における活力の低下や移動の制約の増大などが見込まれるため、安心して暮らせる地域づくりが必要である。

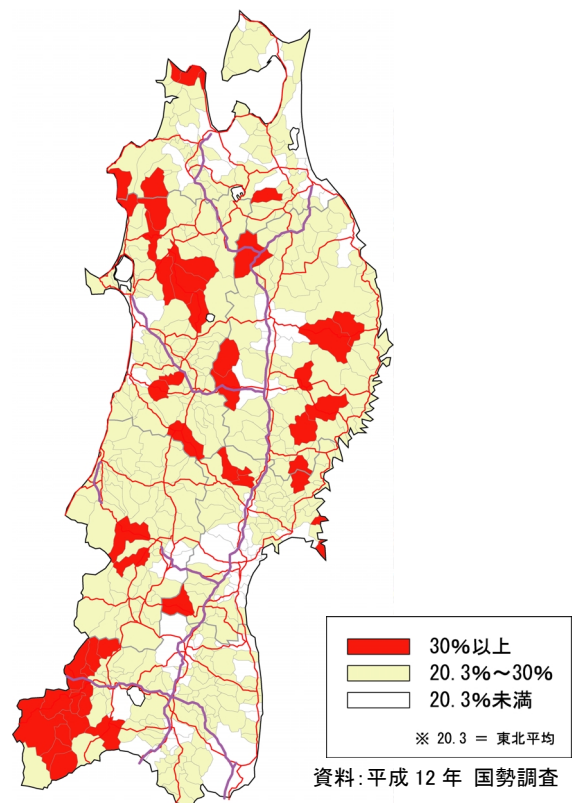
- ・ 東北地方における高齢化は、全国平均を上回り、さらに進展している(図)。
- ・ 東北における高齢化は、特に中山間地域を中心として都市部を上回る速さで進展しており、福祉費用の増大等、地域の医療・福祉サービス機能の一層の充実が求められる(図 、)。
- ・ 東北地方では、高度医療施設 の60分圏域の居住割合は7割程度にとどまっている。また、60分圏外では、周産期死亡率 が高い傾向になっている(図 、)。
- ・ より高度な救急医療サービスを一定の時間内に受けられない地域の解消など、「救命格差」を無くす高速交通ネットワークの整備が必要である。
- ・ 年齢、性別、国籍、身体機能など、人々が持つ様々な特性や違いを越えて、すべての人々が利用しやすいよう、製品、建物、施設、空間などのユニバーサルデザイン による対応が求められている。
- ・ 今後はユニバーサルデザインを事業実施の中心的な考え方として、高齢化社会への対応をはじめとして、安全で安心な暮らしを可能にする質の高い地域の実現が望まれる。
- ・ 元気な高齢者による社会参加も増加がみられることから、高齢者が社会参加しやすい地域環境の整備が必要である(図)。

図 急速に進む東北地方の高齢化



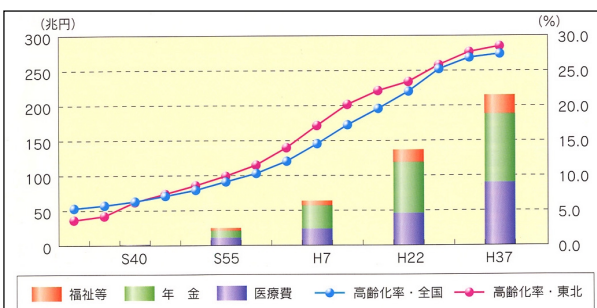
資料: 各年国勢調査

図 東北地方における地域別高齢者比率



資料: 平成 12 年 国勢調査

図 社会保障費の推移



資料: 平成 10 年 厚生白書、平成 7 年 国勢調査、都道府県将来推計人口

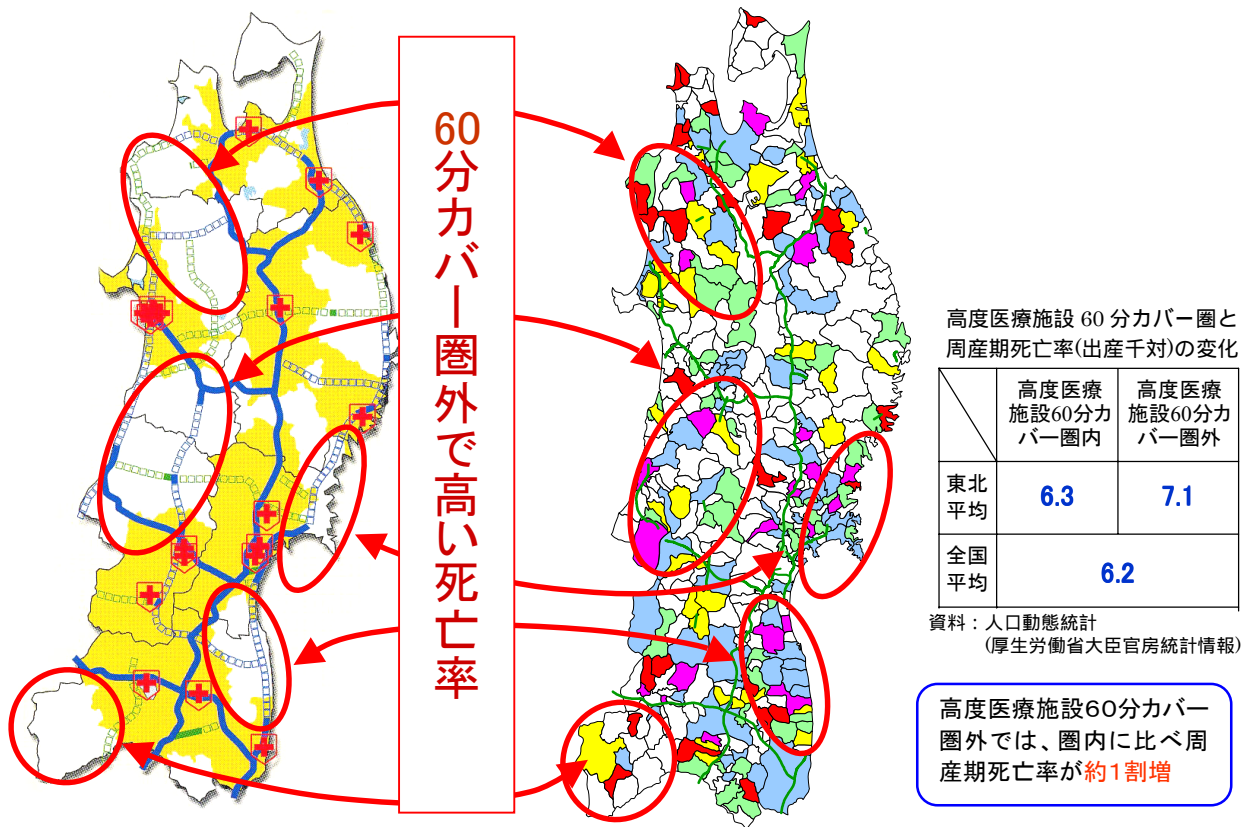
高度医療施設: 重篤救急患者への対応(第一次、第二次医療機関からの転送を含む)を図る施設。

周産期死亡率: 妊娠満22週から生後7日未満までの期間で死亡する乳・胎児の割合。

ユニバーサルデザイン: すべての人が利用可能であるように製品、建物、空間をデザインすること。

(・バリアフリー: 障害者や高齢者・妊産婦などが一般社会の中で遭遇する不便さ(障壁: バリアー)を取り除くこと)。

図 高度医療施設60分カバー圏と各自治体の周産期死亡率



項目	5年前	現在 (H14年度末)
高度医療施設60分圏域カバー人口	630万人 65%	730万人 75%

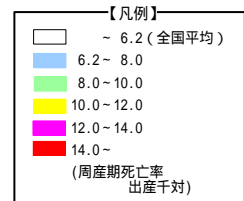
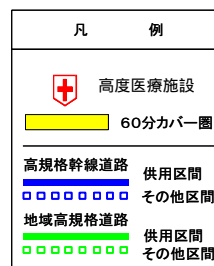
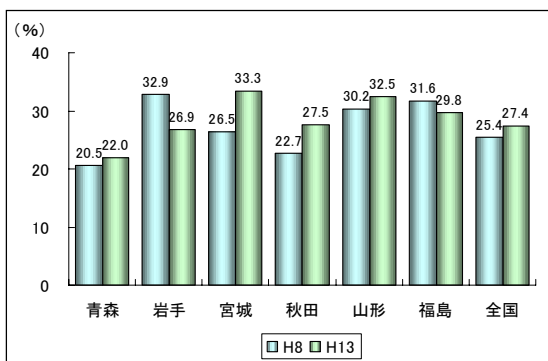
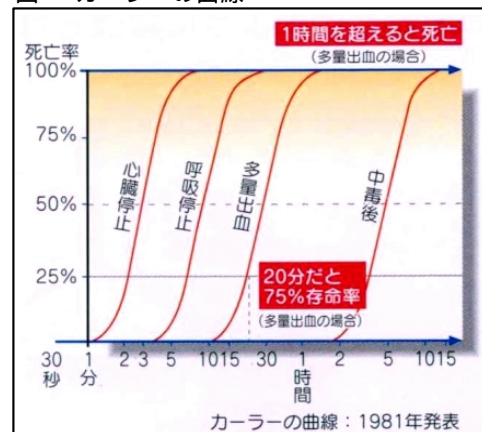


図 高齢者の社会奉仕活動行動者率の推移



資料：平成8年、平成13年 社会生活基本調査 総務省統計局

図 カーラーの曲線



カーラーの曲線：心臓停止、呼吸停止、多量出血において経過時間と死亡率の関係を示したもの。(この図によると多量出血者を30分放置すると、死亡率は50%となる。)